

### 熱意が感じられない小嶋市長

袖師・YT

SBSテレビのトークバトル  
拝見しました。私たち市民がふ  
だん考えていることが、磯谷さ  
んと興津自治会長の太村さんの  
意見だと思えます。

それに対して答えるべき市長  
や他の皆さんは、どこかのはず  
れでお茶を濁すばかり。何一つ  
納得できる答えがありませんで  
した。

リサイクルの問題にしても、  
旧静岡市民の顔色だけを見てい  
るといった感じで、器の小さい  
人だなという印象です。

同じ意味で風間さんにも幻滅  
しました。推進派なら、推進派  
らしく合併に向けての熱い思い  
をぶつけて欲しかった。静岡寄  
りにもなれず、かといって清水  
を説得するでもなく、保身に重  
点を置くこうもりのような人だ

と感じました。

市長の左側に座っていたお二  
人など、これが各分野の長なの  
かと唾然としました。弁解ばか  
りで見苦しい限りです。この人  
たちが新市の中核にいるんじゃ、  
新市の屋台骨は傾くどころか、  
柱のない欠陥住宅になってしま  
うじゃないでしょうか。(まあ、  
柱のないユニット住宅というの  
があります)

磯谷さんや小桜先生のように  
相手に訴えかける熱意が何も伝  
わってこないのは、前向きな事  
に取り組んでいないからだと思  
います。だとしたら、合併後の  
一年間、何をしていたのでしょ  
うか。

### 良くなった点が 思いあたらない

入江・NK

ごぶさたしております。合併  
が実現してしまつたので、諦め  
た訳ではないのですが、不勉強  
で最近の様子は全然わかりませ  
ん。

合併して良くなった点を探そ

うと思つたのですが、思いあた  
りません。

自治会、老人会等の雑談で合  
併後の変更点について不平の声  
が出て、「吸収合併されたの  
だから、仕方がない」という話  
になってしまします。そうなら  
ないために「合併通信」も頑張  
ってくれたのに、残念です。

「サービスは高い方に、負担  
は低い方に」が基本でしたが、  
歪みが出てくるようです。最初  
の一年間は極力この方針にそつ  
たようですが、財政事情その他  
でこのままではやっていけない  
ように聞きますが、心配です。

清商移転の件、茂畑公民館の  
件など、清水地区の市政のずさ  
んさが指摘されているようです  
し、この他の旧市政についても  
いろいろ言われているようで、  
清水側議員のあまりにも不勉強  
が浮き彫りになつたと言われて  
います。合併で、これが糾され  
れば合併の効果とも言えますが、  
「清水区」になれば、元の黙阿  
弥になるのでしょうか。

粗大ゴミの件、静岡方式を押  
し付けられた形で、昨年末の日  
本平運動公園付近の大混雑は、

静岡側から笑いものになりまし  
た。清水地区の人の努力がたり  
ないのか、もう少し見守りまし  
よう。

茂畑の焼却場が中止になり、  
八坂もあと四、五年で閉鎖で、  
西ヶ谷に増設される由、これが  
合併の効果なのか、その逆か、  
意見がわかれる所です。

ブランドデザインは、すでに  
死に体になっていてと思えます  
が、策定に二カ年以上も掛け、  
肝心の合併後の方式(業務、書式、  
管理方法・課税変更など)に  
ついて検討不足のまま合併した  
のは協議会の怠慢そのものであ  
り、それを許した私たち市民の  
責任です。合併したからには一  
つでも良い方向へ行くように努  
力し、見守りたいと思えます。

合併で市長が代わつたのは(清  
水側から見ても)、一つの前進と  
らえたいと思えます。

しかし、旧清水市街の活性化  
は兆候も見えませんが。市街地の  
公共交通網は静岡地区とは雲泥  
の差があるままだし、一つか二  
つでも、清水側にとって「合併  
して良かった」と言えるように  
なつて欲しいと思えます。

どんな組織でも合併は混乱す  
るものだ。強い企業が弱い企業  
を吸収合併した時は、混乱した  
としても短期間で収まる。吸収  
した企業が経営権を握り、経営  
方針、組織、人事を決める。吸  
収された企業の役員は不満であ  
っても、反抗する力がないの  
で、新組織に溶け込もうと努力  
する。吸収合併は多くの場合成  
功する。

ところが対等合併の場合  
は長い期間にわたって  
混乱する。まず新組織の  
トップが誰であるかはつ  
きり決められない。会長、  
社長がそれぞれの企業か  
ら選ばれ、兩人とも代表  
権も持つ場合が多い。人  
事は担当業務がA社、部長はB  
社、次長はA社という「たすき  
掛け」である。

新しい組織づくりの期間がか  
かる。まずどちらの本社ビルに  
新会社の本社を置くかが大問題  
だ。調整がつかず、結局本社機  
能が二つのビルに分かれる場合  
が多い。新しい経営方針を作れ  
ない。新日鐵を始め、合併後の

## 資料

# 対等合併後の混乱

SRI・2002年11月号巻頭言

静岡総合研究機構 竹内宏理事長

新会社が一体化するのに二十年  
ぐらいかかった。  
三つの銀行が対等合併してみ  
ずほ銀行ができる時には、大き  
な混乱が起きた。銀行経営の基  
本的インフラとも言うべきコン  
ピューターシステムの機能が止  
まり、ATMが作動せず、通帳  
の誤記入が頻発した。口座振替  
も遅れた。旧第一勧銀は富士通

が不可欠であり、何年もかけて、  
住民参加の協議会を開き、住民  
が合併メリットを確認すること  
が必要だ。そうしても規模が違う  
都市の対等合併は難しい。まず  
新しい市の名前は、歴史学者、  
郷土史家、言語学者等を中心と  
した審議会でもつくらない限り、  
大きな市の名前がそのまま新都  
市の名前になる。

のシステムを、旧富士銀行はI  
BMのシステムを、旧興銀は日  
立の技術による三行のシステム  
の調整を、それぞれ主張して譲  
らなかつた。結局、トップは何  
も決められずに現場に任せた。  
現場は徹夜で頑張つたが、大型  
化、複雑化したシステムは機  
能しなかつた。  
市町村合併では、住民の支持

大きな市の市役所の建物が新  
市役所になる。組織、事務の  
進め方、議会との関係等は市に  
よつてかなり違う。しかしこれ  
も多勢に無勢であつて、大きな  
市のやり方が通る可能性が大き  
い。  
小さな市の職員は、そこまで  
譲つてしまうと、自分たちの技  
能を発揮する機会が減ることを

恐れる。都市合併の主たる目的  
は、行政コストの引き下げであ  
り、合併後暫くすると、住民サ  
ービスが低下する。その時に、  
市民の不満と小さい都市の職員  
の不満が相乗的に作用して爆発  
するかもしれない。

企業の場合には、対等合併の  
欠陥が目立つたときには、株価  
が暴落して、是正させる力にな  
る。しかし、都市合併の  
失敗は、選挙は四年先で  
あるから、是正する力が  
直ぐには働かない。こ  
うした混乱を防ぐのが新  
市長の任務である。誰でも、  
働きがいのある仕事を与  
えられ、成果が正しく評  
価されれば、不満を忘れ  
て働くものだ。日本経済は弱く  
なり、地方財政は悪くなる一方  
だ。

新市長が自然豊かな美しい街  
作り研究開発型のベンチャーに  
育成、独特な教育システムの創  
造等、自立的な経済成長力を備  
えるようなダイナミックな政策  
を提示すれば、職員の勤労意欲  
が高まり、混乱は直ぐ解消する。